

# 小山の地域医療を考える 市民会議だより

第2号 令和3年3月発行  
発行：小山の地域医療を  
考える市民会議  
事務局：小山市健康増進課  
問合せ：0285-22-9523

## 小山の地域医療を考える市民会議って？

小山の地域医療を考える市民会議は、地域医療の現状や課題について「**学び・考え・広める**」活動をしています。  
メンバーは「**市民・医療関係者・行政**」です。相互の意見をよく聞き、共有し、活かす活動をしています。  
また、**新小山市民病院を応援**する活動も行っています。



小山地区医師会医師による  
勉強会の様子

## コロナ禍で地域医療を守るために私達ができること

小山の地域医療を考える市民会議から、伝えたいことを紹介します！

気持ちはいつも **前向き** に  
コロナの **正しい知識** を得て **正しく恐れる**  
必要なのは **具体的な感染「予防」策**  
コロナに打ち勝つ **健康づくり**  
転ばぬ先の知恵で **早めの受診**

「伝えたいこと」の詳細は、ホームページをご覧ください。

市民メンバーが随時更新中！！

ホームページQRコード→



「**思いやり**」の気持ちを大切に

”**うつらない・うつさない**”

**あなたの意識が地域の医療を守ります**

# 医療関係者へ感謝のメッセージを届けよう！

小山の地域医療を考える市民会議では、地域住民のために医療体制を整えてくださっている医療関係者の皆様へ感謝のメッセージを募集しましたので一部を紹介致します。

感謝のメッセージは、小山市ホームページからも閲覧できます。

・この長いコロナ禍の中で、患者さんの命を守るため必死に努力されている医療関係者や行政の皆様から心から感謝と応援のメッセージを送ります。

私達も「うつらない」「うつさない」で拡大防止に努めます。どうか、ご自分も感染されないようお願いいたします。ご家族も大変でしょうが、コロナが沈静化したらこれは国民全体が力を合わせた成果です。その先頭になって奮闘した医療関係者や行政の皆さんは最大の功労者として賞賛されるべきと思います。

落合 良一

・常日頃、お世話になっております身として、コロナによる医療現場従事者が使命感に溢れ、家族・仲間・そして患者の命を守るべく奮闘しておられる姿には頭の下がる思いです。

私達一人一人が感染対策を怠らず、助け合っていかなければと痛感です。

70代 女性

・前向きに生きてゆけるのは、医療従事者の方々のおかげです。ありがとうございます。

最後の砦である医療が支えてくれている、と考えるだけで大きな安心感を抱きます。

皆様が眩しいです。

10代後半 市内作業所で働く利用生より

・コロナ渦という戦場の最前線で戦っている、医療関係者の皆さんを誇りに思います。早くこのコロナの混乱状況から解放され、元の医療を受けたい人はたくさん待っています。病気も待ってくだらいいのに。どうかお身体を大切に。

小山のマツコ・デラックス

・医師、看護師、スタッフの皆様へ。

小山市の感染拡大防止のため人力を尽くし、日頃よりあつく御礼申し上げます。

皆様の体調も十分に注意されながら『全集中』、医の呼吸で乗り越えてください。

40代 火消しの型 救い柱より

・日夜、市民の健康を守るために頑張っている皆様に感謝いたします。医療従事者が健康でなければ市民の健康は守れません。不当な弾圧に屈せず無理はしないでください。

50代 小幡 淳一

・日々、目の前にいる患者さんのため、日夜頑張りに続けるみなさん、体を労わりながらがんばってください。

50代 けめ

## 発熱等の場合の医療機関のかかり方

まずは**かかりつけ医**や**最寄りの医療機関**へ**電話**で相談

または、**受診・相談センター**「**0570-052-092**」

へ相談してください（受診・相談センターは24時間対応）